

●アウトソーシングセンター「元気ジョブ」の開設等について

札幌市では、清掃や印刷などの業務を民間企業等から受注し、小規模作業所等へ結び付ける役割を担うアウトソーシングセンター「元気ジョブ」を開設し、12月から本格的に事業を開始します。これは、施設で作業する障がい者の収入の安定や向上を図るとともに、作業の様子を見てもらうことで、市民の障がいに対する理解を促進しようと実施するものです。

また、「元気ショップ」が12月で3周年を迎えることから、全商品を5%オフにするなどの記念フェアを開催。さらには、障がい者雇用創出の場として、市本庁舎1階ロビーに「元気カフェ」を開設することとし、現在、来春のオープンを目指し、ワークショップを開催するなどして具体的な検討を進めているところです。

札幌市では、障がい者が地域で生き生きと生活できる社会を目指し、今後も障がい者就労支援に向けた取り組みを進めていきます。

1 アウトソーシングセンター「元気ジョブ」の開設について

(1) 事業受託者

名称：特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ（深澤 正義理事長）

所在地：西区二十四軒4条6丁目5-32 テラ二十四軒1階（TEL 633-6666）

(2) 事業概要

国の「ふるさと雇用再生特別対策推進事業」を活用し、4人の営業員を配置。北海道社会福祉協議会授産事業振興センターが実施する「マッチング事業（共同受注システム）」と密接に連携し、特に札幌市内の企業等をターゲットに事業を展開予定。

現在は、受注した業務を速やかに割り振るために、市内約200カ所の施設における実施可能な業務や体制等の基本情報の整理を進めている。また、札幌市役所の各部署においても、委託可能業務の洗い出し作業を実施中。

2 「元気ショップ 3周年記念フェア」の開催について

(1) 日時：平成21年12月1日(火)～6日(日)

(2) 場所：元気ショップ※（地下鉄大通駅東西線コンコース定期券売り場横）ほか

※ 平成18年12月2日に開設。パン・クッキー等の食料品や手工芸による玩具・日用品など、障がい者が施設等で製作した商品を販売している。

(3) 内容

- ・ 1日に店舗前で、上田市長がクッキーを無料配布する(500個)。
- ・ 開催期間中、全商品5%オフ。1,000円以上購入した先着300人に記念品(せっけん)を配布する。
- ・ 喫茶フロンティア（市本庁舎地下1階）で「元気ショップ 応援フェア」を開催。コーヒー・紅茶を注文した方にクッキーをサービスする。

3 市本庁舎1階ロビー「元気カフェ」整備の進ちょく状況等について

基本設計を含めた整備計画業務を民間調査会社に委託し、3店目※の「元気カフェ」として来春のオープンを目指し、調査・検討中。その一環として、札幌市立大学の学生や障がい福祉関係者などをメンバーとするワークショップを開催。

※ これまで、平成19年5月16日に「カフェドキバリア」（中央区北8西3 エルプラザ3階）が、平成21年1月31日に「ふらっと」（中央区大通西19 社会福祉総合センター1階）がオープンしている。

問い合わせ先

保健福祉局保健福祉部障がい福祉課 成澤・天田

電話：211-2936